

148 長崎郵趣

2018. 7. 15

紀元2600年記念
木下朋英

紀元2600年記念

昭和15年(1940年) 2月11日発行(2銭・10銭)
昭和15年(1940年)12月10日発行(4銭・20銭)



4銭・20銭 記念特印 樞原 昭和15年12月10日(初日印)

展示品の説明

昭和15年(1940年)は「紀元二千六百年」に当たっていました。この「紀元」と言うのは初代の天皇と伝えられている神武天が樞原宮に於いて即位した年を元年としたもので、当時は「皇紀」と呼ばれていました。建国以来2600年という「めでたい年」を日本の国家と国民を挙げてお祝いする計画が出ましたので、記念切手の発行も計画され4種類の切手が発行されました。紀元節に当たる2月11日に内外兼書用の切手(2銭と10銭)が発行、式典当時に当たる11月10日に内外書状用の切手(4銭と20銭)が発行されました。尚、2回に分けて発行された切手は今回が初めてです。

今回展示します作品は4種類の切手を製造面と使用面に分けて展開した作品です。

紀元2600年記念

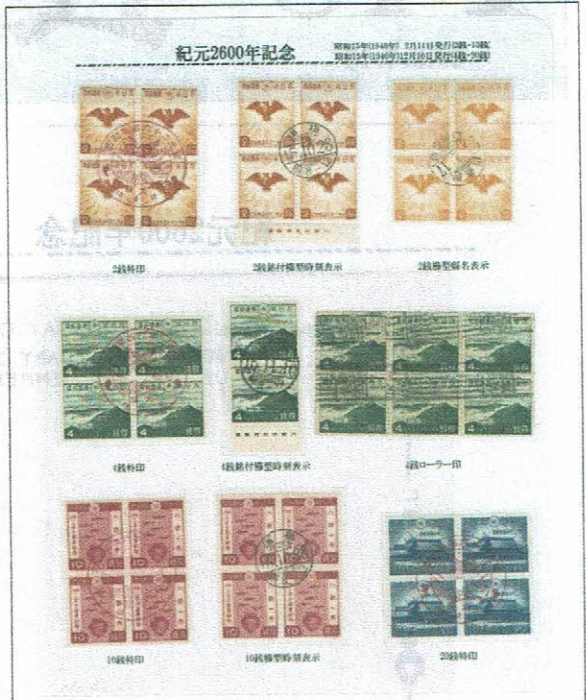
木下 朋英

昭和15年（1940年）は紀元2600年にあたっていました。この「紀元」というのは、初代の天皇と伝えられている神武天皇が橿原宮に於いて即位した年を元年としたもので、当時は「皇紀」と呼ばれていました。建国以来2600年という「めでたい年」を日本の国家と国民を挙げてお祝いする計画が出ましたので、記念切手の発行も計画され、4種類の切手が発行されました。紀元節に当たる2月11日に内外葉書用の切手（2銭と10銭）が発行され、式典当日の11月10日に内外書状用の切手（4銭と20銭）が発行されました。なお、同一記念名の切手が2回に分けて発行されたのは今回が初めてです。

今回展示します作品は、4種類の切手を製造面と使用面に分けて展開した作品です。

（以下の説明は編集部による）

①表紙：記念切手として初めて2回に分けて発行されたことを示す。記念印は同一図案で日



付のみ変えてあるのが、2通並べるとはっきりして好ましい。②製造面。銘版を2枚掛けは田型で、1枚掛けは6枚ブロックで示し、20銭

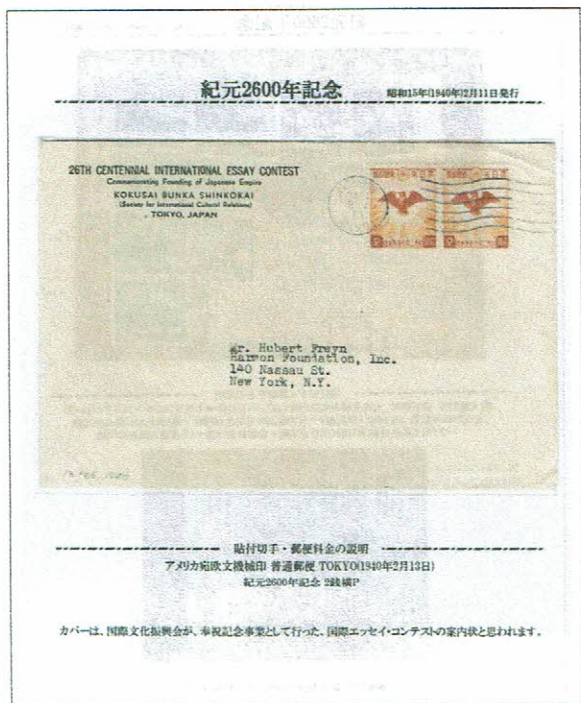




のカラーマークのバラエティを入れた。③マルチプルによる消印。④2銭切手の製造面。定常変種を未使用単片とシートの使用済で示す。スキャンの関係で画像では切れているが、作品では完全シート。⑤2銭使用



内状を送ったもの。⑦外信書留36銭料金に2銭8枚と公園切手10銭赤を2枚貼って差し出した。20銭の青色切手でなく、暖色系の色合いで貼り合わせてあるので、見た目に違和感なく、好ましいカバー。



例。発行目的本来の葉書使用例2通。左：標語印もマッチ。右：樺太風景印。⑥外信機械印。4銭発行前なので2枚貼って印刷物で差し出した。奉祝記念事業の案



⑧こちらは2銭田型に公園切手2銭と10銭を貼り足して外信料金20銭にして差し出したもの。上のカバーと同じくドイツ宛でナチスの検閲印付き。



⑨ 2銭と10銭を各1枚貼りで12銭。昭和切手12銭ペアを貼り，計36銭で外信書留料金にして使用。青色鉛筆での十字は英領宛の書留便でよく見かける。スコットランド宛。



⑩ ここから2次発行の額面。国内の4銭単貼書状はありふれているので，割愛し，多数貼り外信便を2通並べた。5枚貼はDAIREN。9枚貼って36銭の外信書状はお見事というしかない。



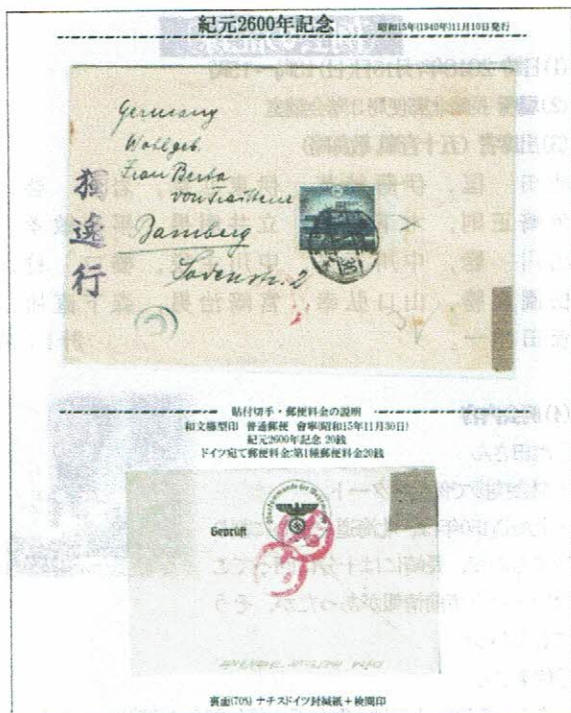
⑩ 10銭の発行目的通りの外信葉書の使用例。岡山にいたドイツ人が本国に差し出したもの。2月11日の初日印のFDCだが，自然な使用例。



⑩ 4銭と20銭他を貼り72銭料金。書状基本料金20銭に書留16銭，4倍増料金12×3で36銭の計72銭。大連市内局の差し出し。



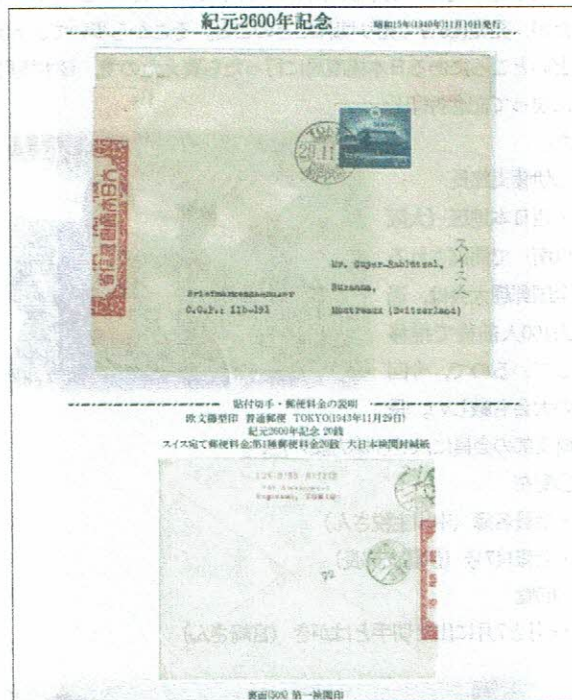
⑬ 2次発行2種類をうまく貼り合わせて36銭の外信書留書状にして差し出したもの。FDCだが実郵便で、ナチスの検閲封緘紙・到着印付き。



⑮ 20銭切手の発行目的どおりの外信書状単貼使用例。朝鮮北部の会寧から差し出されたドイツ宛。ナチスの検閲封緘紙・検閲印付き。



⑭ 切手会版FDC封筒を使用し、神武天皇ゆかりの樺原局の記念印を押してハワイに差し出されたFDC。料金過納だが高額切手の田型貼は貴重。



⑯ 1943年の戦時中のスイス宛て外信書状。中立国宛なので外信便が差し出せた。名宛て人の国籍記入は義務。通信省の封緘紙と検閲印付。